



愛する郷土を盛り上げる！
輝馬伝、ついに始動！！

（あいさつ）

平成三十一年度奥州水沢四十二歳厄年連
 輝馬伝会長 阿部 由起男（奥水沢中出身）

皆さん、こんにちは！この度、平成三十一年度奥州水沢四十二歳厄年連「輝馬伝」の会長の職をお預かりさせて頂くことになりました。東中出身の阿部由起男と申します。どうぞよろしくお願致します。

遡ること四十年前この地に生を受け、必然的に出会い巡り合えた昭和五十三年、五十四年生まれ私たち同級生。早いもので十六年前にもなる二十五歳厄年連の良き思い出。私たちは、子どもの頃から一人の力では無い出来ないことも、皆の力を結集して大きな力を生み出し、成し遂げてきた経験は必ず記憶の片隅に良き思い出として持っていると自覚しています。今日に至るまでも、様々な出会い、そして多くの経験を通じて、今の私たちがあります。今一度同級生の絆を強くし、輝馬伝として成長した姿をもって、お世話になった人たちや生まれ育った地域により良く還元してまいります。

まずは同級生の皆様とその想いを共有したい。集う仲間が共感し、さらにその仲間が共鳴し、輝馬伝として大きな力となって共働していく。かけがえのない仲間と何物にも代えがたい時間、最高の厄年連「輝馬伝」は、私

たちしか創ることが出来ません。同級生の皆様とともに、輝馬伝は未来に向けて疾風のごとく駆け抜けていきます。どうぞよろしくお願致します。



koumaden

平成31年度 奥州水沢42歳厄年連

輝馬伝

会報 第 **壱** 号 平成30年7月

裏方に徹し、先輩の背中に学ぶ！
次は俺たちだ！！



◆平成三十一年度設立総会

平成31年度42歳厄年連の設立総会は1月2日、水沢依倉河のりサージュ四季の抄で開かれました。会の名称は25歳厄年連の際に使用した「輝馬伝(こうまでん)」とし、会長に東水沢出身の阿部由起男君を選出しました。久しぶりに再開する同級生たちもいて、総会後の懇親会も盛り上がりしました。

総会では規約の承認など6議案を審議。このうち会の名称については、事前の投票で最多だった「輝馬伝」が選ばれました。また、日高火防祭に向けた実行委員会となる「祭典実行委員会」の役員、委員の委嘱については、阿部会長以下役員に一任することも確認しました。

実行委員会の設置部やその役員等は、8月12日の「臨時総会」にて提案、承認を得る予定です。

輝馬伝 役員

会長	阿部由起男 (東中)
副会長	佐川 敬佳 (水)
事務局長	千葉 良政 (南中)
事務局次長	佐々木 宏徳 (水)
幹事	小野 寺統一 (東中)
	菊池 千都 (南中)
	辻山 学 (水)
	高橋 幸博 (水)
	村上 望 (東中)
	大久保 陽 (東中)
	及川 哲伸 (南中)
	佐藤 綾 (南中)
	千葉 礼美 (南中)
	岩田 真吾 (水)
	沼田 敬義 (南中)
会計次長	
会計	
監事	



「25歳」の名を継承し、 より輝ける「42歳」へ 輝馬伝、再び!!

◆日高火防祭までの主なスケジュール

7月13日	神田来との引継会
8月4日	水沢さつあかまつり参加
8月12日	臨時総会(実行委員会設立)・同窓会
9月2日	3地区合同交流会
9月16日	みずさわ商人まつり
	奥州(く)のASO(露店出店)
9月下旬	オリジナル曲完成
10月上旬	3地区合同交流会
10月中旬	奥州水沢産まつり(露店出店)
11月中旬	3地区合同交流会
11月下旬	市長表敬訪問(3役対応)
12月上旬	衣装・振付完成
	演舞練習開始

◆2019(平成31)年

1月1日	総会・同窓会(衣装・演舞・音楽披露)
1月中旬	25歳厄年連との交流会
1月下旬	来年度42歳厄年連との合同会議
2月中旬	黒石寺蘇民祭
3月下旬	羽田火防祭演舞
4月上旬	全体練習
4月中旬	前沢春まつり演舞
4月28、29日	日高火防祭

※4月は降雪・演舞出演依頼などが入ることがあります



伝統を受け継ぎ仲間と共に創り上げる 喜びを体感せよ!!

◆「仲間」より、得意なこと、力を!

厄年連の活動というと、つい「面倒な役はやりにくい」「自分の時間がなくなりそう」「何年も会っていない同級生と会うのは気が進まない」「入前で踊る自信がない」など気が進まぬこと、参加をためらう人、おっくうになる人もいます。

心配ありません。皆さんそれぞれに得意なこと、できることをやって、メインの活動となる「日高火防祭」に向けて一緒に歩みましょう。困ったとき、つらくなった時にはまずは、仲間の誰かに声を掛けてください。

すでに音楽が得意な会員は、創作演舞の楽曲の制作に取り組んでいます。ネットやパソコンが得意な人は、ホームページの立ち上げ作業もしています。皆さんの普段のお仕事、趣味を生かせる絶好の機会ですし、周囲の皆さんに輝いている自分をアピールできるめったにない機会です。



◆仲間を増やそう!

仲間がいればいるほど、盛り上がるのがお祭りです。厄年を迎えるのも、苦楽を共にした同級生、偶然同じ年度にこの世に生まれた面々が火勢集まり、一緒に一つのことに取り組めるのもひょっとしたらこれがラストチャンス。一生一度の晴れ舞台、共に迎えませんか?



なぜ厄年に踊る?

日本独特の風習である「厄年」。「この年齢になると厄災が多い」と平安時代のころからはすでに信じられていたそうです。厄年の年齢は数え年(誕生日前であれば満年齢に2歳、誕生日後ならば1歳加える)で数えます。

科学的根拠は無いとはいえ、嫌なことは避けたいと誰もが思うもの。昔から様々な方法で厄除けをしてきました。最もスタンダードなのは神社やお寺でご祈祷してもらう方法です。伝統的な祭事、法要などを通じて払い落すこともあります。

一方、水沢やお隣の江刺、前沢、胆沢などでは男性の本厄である42歳のときに中学校時代の同級生たちと「厄年連」を結成し、地元のお祭りに参加し、創作演舞を披露するこの地域独特の習慣があります。一体、いつ、誰が始めたのでしょうか?

水沢の大名出身だったという民族学者・森口多里(もりぐち・たると、1892—1984)などの記録によると、かつて日高火防祭では「俄(にわか)」と呼ばれる1人から数人グループによって出し物が行われていたそうです。誰でも参加でき、歌舞伎のまねをしてみたり、当時の世相を風刺したオブジェを作って見せて回ったり、火金持ちの家の前で寸劇を見せてごちそうをいただいたり、様々な形でお祭り本体を盛り上げていたそうです。

また、この地域では騒ぎ立てて役を担うという風習もあったそうで、「俄」と騒ぎ立てる厄払いが相まって、厄年連という文化が築き上げられてきたのではとの説があります。

成人式以外の場面で大勢の同級生が集まり、手の込んだ準備を重ねて創作演舞を披露するというのは、なかなかない風習だと思います。

(広報部・児玉)

輝馬伝臨時総会のご案内

2018年8月12日(日)
水沢グランドホテルにて開催
活発な意見求む!ぜひ集まって~!!



入会条件はこれだけ!

- ①1978(昭和53)年4月2日～1979年(昭和54)年4月1日に生まれた人。
- ②「輝馬伝」の活動趣旨や規約にご理解いただける方。

スタジャン、ポロシャツ 販売中!

輝馬伝として活動する際に着用するスタジャン、ポロシャツを販売しています。

イベントでの物販、協賛金集め、広報PRなどであちこち歩く際は、ぜひ着用してください。

お買い求め希望の人は、
メール koumaden@gmail.com
(事務局まで)

ポロシャツ



詐欺行為、いやがらせにご注意!

このところ、何かと物騒な世の中です。ネットやスマホの普及で、身近なところでもさまざまなトラブルに巻き込まれやすい環境になっています。楽しく活動していく上で、厄年絡みの犯罪、あるいは嫌がらせ行為には十分注意しましょう。

①「輝馬伝」「42歳厄年連」を名乗った協賛金詐欺に注意!

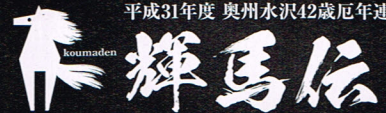
厄年の活動はなるべくオリジナルのスタジャン、ポロシャツなど所属や目的が分かる格好で行いましょう。怪しい行為を見聞きした場合は、すぐに事務局や役員に連絡をしてください。

②SNSの利用は常識の範囲内で

連絡や情報発信のため、SNSを頻繁に利用することがあります。久しぶりにあった同級生、新しく協力し合う仲間たちと仲良くするいい機会ですが、お付き合いやネット上での会話等は常識の範囲内で行いましょう。

誹謗中傷、ストーカーやセクハラ行為(言動含む)、高額な商品やサービスの売り込み、新興宗教、政治活動等への勧誘など悪質なものを発見、または連絡を受けた場合はしかるべき対応を取らせていただきます。

平成31年度 奥州水沢42歳厄年連



homepage

<https://koumaden.jimdofree.com>



Facebook Twitter

公開中!

輝馬伝

検索

先輩たちの姿に学び 「次は俺たちの番!」

日高火防祭 運営をサポート

平成30年度奥州水沢42歳厄年連「神巳来(じんみらい)」が日高火防祭に協賛出演。前厄に当たる私たち輝馬伝は、28日の前日祭・前夜祭、29日の本祭に先輩方の祭典運営をサポートしました。

水沢3中学校卒業生が中心となり、毎年結成される25歳、42歳の厄年連は先輩方から祭典運営の伝統を引き継ぎ、後輩へつなげるのが習わしとなっています。特に平成23年度以降大型トラックを使った花車(生バンドのステージになる車)の運行ができなくなつてからは、人力で花車を押さなくてはならず、前厄の厄年連の協力がより重要なものになっていました。

1月の輝馬伝設立総会後は、幹部メンバーを中心に諸準備や打ち合わせなどを進めていきましたが、日高火防祭当日は多くの輝馬伝会員が力を合わせて実施する初めての活動。ライフスタイルの多様化もあり、思うように人数が集まらない厳しい現実にも直面しながらも、同級生の絆で助け合い、何とか当



日を迎えました。1年下(昭和54年度生まれ)の後輩の皆さんからも応援をいただきました。
4月下旬とはいえ、うだるような暑さの中、一生に一度の晴れ舞台に臨む先輩方を支えながら、1年後の自分たちの姿をそれぞれに思い描きました。花車を押すだけでなく、飲食物の供給支援、大町「おまけつとパーク」での縁日対応などにも「輝馬伝スタジャン」を身にまとった仲間たちの姿がありました。
火防祭の熱気の記憶がまだ残る7月13日、神巳来の先輩方から正式に厄年連の伝統を引き継ぎました。いよいよ今度は輝馬伝の出番です。

◆ お金はどれくらい かかるの? ◆

会費は5,000円で、納入案内をあらためて発送します。同封の郵便振替用紙等にてお支払いください。期限は発送日より2ヶ月後までの納付をお願いします。

また、これとは別に「日高火防祭」に参加する際には、別途祭典出演費用の協力をいただきます。

詳細については今後決定していきますが、直近の42歳厄年連の先輩方のケースを例示すると、メインの「日高火防祭」の参加費用は

・男性 5万円 ・女性 4万5千円

となっております。42歳は男性の本厄に当たるため、神社でのご祈祷料などの費用がある分、男性が高くなっています。

衣装代、祭典当日の飲食費、笠越(終了後の打ち上げ)代、アルパム制作費、その他祭典参加運営にかかる諸費用に充当されます。金額が大きいので、今のうちから少しずつ貯めておくことをお勧めします。

このほか、総会や各種会合、懇親会等がある場合はその都度会費を徴収することがあります。

◆ 水沢3中卒 じゃなくてもOK! ◆

奥州市水沢の厄年連は旧水沢市の3中学校(水沢中、東水沢中、水沢南中)を卒業している人たちが中心となり活動します。

奥州市内各地では同様の厄年連(年祝連)の活動が行われています。お住いの地域の厄年連活動に参加されることをお勧めしますが、そのような集まりがない地域の出身で、縁あって水沢やその周辺にお住まいの方もきっといると思います。

- ・奥さん(旦那さん)が同い年だけど、市外の中学校卒業生だった
- ・職場に仲のいい同級生がいるけれど、県外出身
- ・水沢の職場に通っていて、厄年連の踊りに興味があるけれど、参加できるのかな?
- ・水沢の高校に通っていたときの友達と一緒に踊りたいなあ、協力もしたい!

今は市町村や都道府県、さらには国の境を飛び越え人や物が行き来する時代。水沢のまちを盛り上げたい、同じ年の友人たちと一緒に思い出を作りたい。そんな人が周囲にもいましたら、ぜひ声を掛けてください。

編集 後記

なんとか「広報第1号」を作ってみました。普段から文章を書く仕事をしているとはいえ、「報道」と「広報」では勝手が違います。各分会で今後作業が進んでいくことと思いますが、「こんなことしているよ!」「ここまでやったぞ!」「何かアイデアくれ!」「助けてれ~(?)」という声を、どんどんお寄せください。皆さんの活躍ぶりをしっかり受け止め、地域住民の皆さまに発信していきます!(児玉直人・南中卒)